



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立北辰学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

情報センターとしての機能

いろいろな本を知ってもらおう！

～“図書局だより”の発行とPOPの掲示で図書館の本の情報を提供～

12月の読書週間では、全校生徒の皆さんに図書館に来てもらい、いろいろな本の魅力を知って欲しいと考えて各分類の本を紹介する「図書局だより」を毎日発行しました。

初めての試みとしてClassroomで配信という方法をとりました。Chromebookでの記事の作成やPDF化、Classroomへの投稿などは初めての局員も多かったので、詳しい局員に聞きながら作業しました。初日には紙で発行したものをクラスに掲示して宣伝したのですが、見てくれる人はあまり多くないと感じました。それでも2類(歴史)や3類(社会科学)の貸出数が他の月に比べて多くなっていて、図書局だよりを読んで借りてくれたのかなあと嬉しいです。

図書館前に掲示したPOPも「クオリティが高く一か所だけの掲示ではもったいない」と好評です。

局会のClassroomも発足したので紙とデジタルの両面での活動を行っていきたいです。



学習センターとしての機能

国語で習った本の紹介コーナー

教科書に出てきた作品を図書館で読んでみませんか？



図書館にある国語の教科書に載っている本を紹介するためのコーナーを作りました。

まず局員が国語の教科書に載っている作品を書き出してリストを作り、図書館の本を検索して集めました。集めた本は学年ごとに色分けしたテープをはってコーナーにすることにしましたが、あまり場所がなかったため新着コーナーの棚の上に展示しました。

今回は作業の期間が短かったことや、コーナーの場所が隅で目立たなかったことなど、十分に紹介できなかったため、今後の企画では準備に時間をかけることや、皆の目を引く方法を考えたいです。